

日本の人口減は確定事象？

- 天体の動き
 - 物理法則に基づき確定的に進行
 - データが揃えば1000年後も予測可能
- 人口の増減
 - 物理法則に基づき確定的に進行？
 - データが揃えば1000年後も予測可能？

1

富山ライトレールの成功 video

- 地方鉄道再生・LRT普及の先導例
 - 国も公共交通を大切にする
 - 目標3400人/日に対し昨年秋2266人/日
 - 平日の平均5172人/日
 - 人口も増加傾向へ転換
- まちづくりとの関連
 - 富山市中心市街地活性化基本計画：
公共交通の活性化により車に頼らずに暮らせる中心市街地の形成

2

予想外の利用と なった要因

- 本数を3.4倍にしたところ、利用が2.3倍

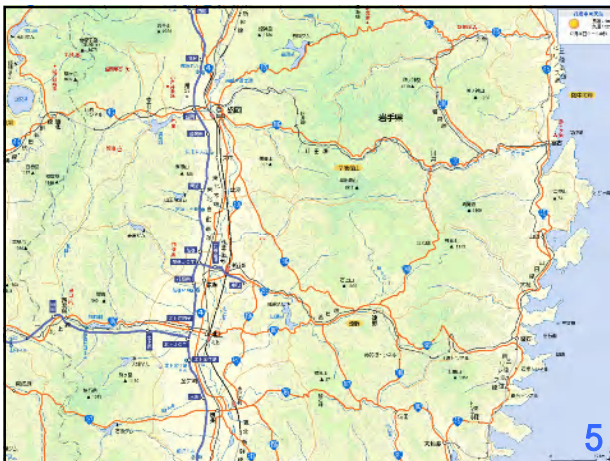
富山(富山駅北)発		
富山港線	時	富山ライトレール
47	5	57
52	08	6 35 53
23	7	14 24 35 45 55
36	01	8 05 15 25 45 57
	9	14 30 45
00	10	00 15 30 45
11	11	00 15 30 45
09	12	00 15 30 45
04	13	00 15 30 45
04	14	00 15 30 45
04	15	00 15 30 45
08	16	00 15 30 45
51	26	17 00 15 30 45
32	18	00 15 30 45
13	19	00 15 30 45
20	20	00 15 45
32	21	15 45
	22	15 45
	23	15
		15
19本	計	64本

3

全国状況

- 脱クルマが求められていながら、
 - 地方鉄道：次々と廃線が進む
 - LRT：採算性を確保できず
- 地方鉄道・LRTの現実
 - 利便性が低い、高コスト構造
 - 低質で高いものが選択されないのは当然
- 本来のライトレールの意味
 - LRT 超低床の路面電車、車を排除
 - コストが低い、手軽に乗れる等

4



盛岡の山田線

- 今までの位置付け
 - 盛岡と宮古を結ぶ都市間鉄道
 - マイカー・バスが主流となり使命終了
- 見方を変えると
 - 盛岡から5km間は富山に匹敵する集積video
 - 都市鉄道として機能し得る立地条件
 - 現にあるインフラを有効活用しよう!
 - 同じ状況は全国各地に多数あり

7

使いたくても使えない

山田線発車時刻 Yamada Line Departure Times			
上り 盛岡方面 for Morioka		下り 上米内・宮古方面 for Kamiyonai & Miyako	
7	16 盛岡	57	盛岡
8	43 盛岡	7	32 上米内
11	13 リアス盛岡	8	14 上米内
17	54 盛岡	10	53 リアス宮古
20	35 盛岡	13	51 リアス宮古
		16	35 宮古 大志田通過
		19	15 宮古

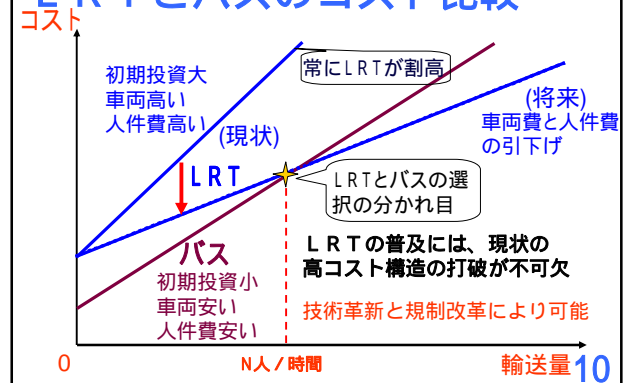
8

これからの交通経営のあり方

- 今までの交通事業者の思考パターン
 - 利用者数は、沿線人口等で確定
 - 経費節減のため運行本数は必要最低限
- 富山ライトレールで証明された
 - 利用者数は、サービスレベルによる
- 今後の取組み
 - サービス向上を基軸とした鉄道経営
 - 高コスト構造の打破も重要

9

LRTとバスのコスト比較



救世主となるDMV video

- DMVの特徴
 - JR北が開発の線路・道路兼用車
 - 在来車と比べて低価格かつ高性能
 - JR北が4月から試験的に営業運転
- DMVの使い方
 - 線路外の学校・団地・病院等へ直通
 - 線路上は運転士1名で連結運転
 - 将来は乗務員免許の簡易化

11

まちづくりと交通

- 人口の増減
 - 社会現象であり、条件が変れば変わる
 - まちづくりに、交通は決定的に重要
 - 明治～昭和30年代：鉄道が国を牽引
 - 昭和40年代～平成初期：自動車国を牽引
- 近年の人口減の原因は？
 - 自動車性能向上と道路建設：収穫逦減
 - (自分を含む) 鉄道屋の努力不足
- 鉄道屋が頑張れば人口は増える

12